

別記様式第1

次 長	副 部 長	課 員

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

令和 7 年 3 月 25 日

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

殿

届出者

住 所

氏 名

電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防 火 対 象 物	所 在 地	兵庫県丹波市柏原町柏原5600					
	名 称	丹波の森公苑（ホール棟、管理棟、研修棟）					
	用 途	令別表第一(16)項イ					
	規 模	地上	3 階	地下	1 階	延べ面積	5, 2 6 8.66 m ²
消防用設備等 (特殊消防用設備等)の種類等		消火器具、スプリンクラー設備、粉末消火設備、自動火災報知設備 非常警報器具及び設備、避難器具、誘導灯、排煙設備、非常電源（自家発電設備） 非常電源（蓄電池設備）、防火扉・シャッター設備					
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		※ 備 考			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4 ※印欄は、記入しないこと。

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その1)

名 称	丹波の森公苑（ホール棟、管理棟、研修棟）		防 火 管理者	
所在地	兵庫県丹波市柏原町柏原5600		点検実施 責 任 者	
点検種別	機器点検 ・総合点検・ (設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ～ 令和 7 年 3 月 12 日	
設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判定	不 良 内 容		
消火器具	⊙・不良			岡田 智恵
スプリンクラー設備	⊙・不良			岡田 智恵
粉末消火設備	⊙・不良			岡田 智恵
自動火災報知設備	⊙・不良			岡田 智恵
非常警報器具及び設備	⊙・不良			岡田 智恵
避難器具	⊙・不良			岡田 智恵

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。

3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。

措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 具 点 検 票										管理棟、研修棟、ホール棟		
名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)							防 火 管理者				
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600							立会者				
点検種別	機器点検			点検年月日		令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日						
点 検 者	氏名			点 検 者		社名		TEL				
				所属会社		住所						
点 検 項 目				点 検 結 果						措 置 内 容		
				消 火 器 の 種 別							判定	不 良 内 容
				A	B	C	D	E	F			
機 器 点 検												
設 置 状 況	設 置 場 所	○	○	○	○			○				
	設 置 間 隔	○	○	○	○			○				
	適 応 性	○	○	○	○			○				
	耐 震 措 置	/	/	/	/			/				
表 示 ・ 標 識		○	○	○	○			○				
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	○	○	○	○			○				
	安 全 栓 の 封	○	○	○	○			○				
	安 全 栓	○	○	○	○			○				
	使用済みの表示装置	/	/	/	○			○				
	押し金具・レバー等	○	○	○	○			○				
	キ ャ ッ プ	○	○	○	/			○				
	ホ ー ス	○	○	○	○			○				
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○	○	○	○			○				
	指 示 圧 力 計	○	○	○	/			○				
	圧 力 調 整 器	/	/	/	/			/				
	安 全 弁	/	/	/	○			○				
	保 持 装 置	/	/	/	/			/				
	車 輪 (車載式)	/	/	/	/			/				
ガス導入管 (車載式)	/	/	/	/			/					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。A は粉末消火器、B は泡消火器、C は強化液消火器、D は二酸化炭素消火器、E はハロゲン化物消火器、F は水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器 の 内 部 等	本・体内 容筒 器等	本 体 容 器	/	/	/	/			/																																												
		内 筒 等	/	/	/	/			/																																												
		液 面 表 示	/	/	/	/			/																																												
		消 火 薬 劑 性 状	/	/	/	/			/																																												
		消 火 薬 劑 量	/	/	/	/			/																																												
	機 能	加 圧 用 ガ ス 容 器	/	/	/	/			/																																												
		カ ッ タ ー ・ 押 し 金 具	/	/	/	/			/																																												
		ホ ー ス	/	/	/	/			/																																												
		開閉式ノズル・切替式ノズル	/	/	/	/			/																																												
		指 示 圧 力 計	/	/	/	/			/																																												
		使用済みの表示装置	/	/	/	/			/																																												
		圧 力 調 整 器	/	/	/	/			/																																												
		安 全 弁 ・ 減 圧 孔 (排圧栓を含む。)	/	/	/	/			/																																												
	備 考	粉 上 り 防 止 用 封 板	/	/	/	/			/																																												
		パ ッ キ ン	/	/	/	/			/																																												
サイホン管 ・ ガス導入管		/	/	/	/			/																																													
ろ 過 網		/	/	/	/			/																																													
測 定 機 器	放 射 能 力	/	/	/	/			/																																													
	消 火 器 の 耐 圧 性 能	/	/	/	/			/																																													
簡火 易用 消具	外 形	/	/	/	/			/																																													
	水 量 等	/	/	/	/			/																																													
※粉末(蓄圧式)消火器×41本…内34本 製造5年以内につき機能点検対象外 ※中性強化液(蓄圧式)消火器×29本…全数 製造5年以内につき機能点検対象外 ※※機能点検(放射試験)対象消火器×1本																																																					
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名																																													
	秤量計	0～2kg		ヤマト	秤量計	0～30kg		ヤマト																																													
	ストップウォッチ	W610		セイコー																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>器 種 名</th> <th>設 置 数</th> <th>点 検 数</th> <th>合 格 数</th> <th>要修理数</th> <th>廃 棄 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粉 末 (蓄圧式) 外観点検</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中性強化液(蓄圧式) 外観点検</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>機 械 泡 (蓄圧式) 外観点検</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素 外観点検</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												器 種 名	設 置 数	点 検 数	合 格 数	要修理数	廃 棄 数	粉 末 (蓄圧式) 外観点検	41	41	41	0	0	中性強化液(蓄圧式) 外観点検	29	29	29	0	0	機 械 泡 (蓄圧式) 外観点検	2	2	2	0	0	二酸化炭素 外観点検	1	1	1	0	0												
器 種 名	設 置 数	点 検 数	合 格 数	要修理数	廃 棄 数																																																
粉 末 (蓄圧式) 外観点検	41	41	41	0	0																																																
中性強化液(蓄圧式) 外観点検	29	29	29	0	0																																																
機 械 泡 (蓄圧式) 外観点検	2	2	2	0	0																																																
二酸化炭素 外観点検	1	1	1	0	0																																																

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消 火 器 管 理 票

名 称 丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)							点検年月日		令和 7 年 3 月 12 日		
							点 検 者				
番号	設置場所	種 別	型式番号	容量	メーカー	製造年月	製造番号	詰 替 年月日	判定	備 考	
【研修棟】											
1	1 F 廊下	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106015	蓄圧式	○		
2	1 F ラウンジ	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106011	蓄圧式	○		
3	1 F 子供室前	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	105997	蓄圧式	○		
4	1 F 廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004649		○		
5	1 F 多目的ホール	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004647		○		
11	2 F ロビー	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106008	蓄圧式	○		
12	2 F 廊下	粉 末	29-15	3.0Kg	ニホンドライ	2019	C031793	蓄圧式	○		
13	2 F 廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004626		○		
14	2 F 廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004633		○		
15	2 F 廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	009282		○		
【管理棟】											
6	1 F 展示コーナー	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004641		○		
7	1 F 事務室	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	007957		○		
8	1 F 展示コーナー	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106002	蓄圧式	○		
9	1 F 事務室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106007	蓄圧式	○		
10	1 F ロビー	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	076236	蓄圧式	○		
16	2 F 廊下 活動コーナー	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004631		○		
17	2 F 廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004632		○		
18	2 F 湯沸室前	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	076192	蓄圧式	○		
19	2 F 事務室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	076272	蓄圧式	○		
20	2 F 廊下	粉 末	29-15	3.0Kg	ニホンドライ	2018	C026691	蓄圧式	○		
24	塔屋	粉 末	29-15	3.0Kg	ニホンドライ	2018	C026705	蓄圧式	○		
26	塔屋	粉 末	29-15	3.0Kg	ニホンドライ	2019	C031905	蓄圧式	○		
21	屋外 L P G	粉 末	23-361-1	6.0Kg	ヤマト	2020	004218	蓄圧式	○		
22	屋外 L P G	粉 末	23-361-1	6.0Kg	ヤマト	2020	004210	蓄圧式	○		
23	屋外 車庫	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004642		○		
25	屋外 車庫内	中性強化液	26-7	6.0ℓ	ヤマト	2020	000522		○		

(注) 判定欄の記入方法 良好な場合…○ 不良な場合…×

消 火 器 管 理 票

名 称 丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)

点検年月日

令和 7 年 3 月 12 日

点 検 者

1

番号	設置場所	種 別	型式番号	容量	メーカー	製造年月	製造番号	詰替年月日	判定	備 考
1 B 1 F	倉庫	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106022	蓄圧式	○	
2 B 1 F	倉庫	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	105989	蓄圧式	○	
3 B 1 F		粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	105998	蓄圧式	○	
4 B 1 F	受電室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106010	蓄圧式	○	
6 B 1 F		中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004650		○	
7 B 1 F	倉庫	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004625		○	
8 B 1 F	アラーム弁室	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004657		○	
9 B 1 F	機械室	機 械 泡	28-7	3.0ℓ	ヤマト	2020	000248		○	
45 B 1 F	機械室	粉 末	29-15	3.0Kg	ニホンドライ	2019	C031902	蓄圧式	○	
12 B 1 F	機械室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	105992	蓄圧式	○	
5 1 F	舞台裏	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106033	蓄圧式	○	
10 1 F	ロッカー室前	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106003	蓄圧式	○	
11 1 F	廊下	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106009	蓄圧式	○	
13 1 F	舞台	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	105990	蓄圧式	○	
14 1 F	練習室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106021	蓄圧式	○	
15 1 F	廊下	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	105994	蓄圧式	○	
16 1 F	客席横	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106000	蓄圧式	○	
17 1 F	客席横	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106005	蓄圧式	○	
18 1 F	ロビー	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004644		○	
19 1 F	廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004627		○	
20 1 F	廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004646		○	
21 1 F	舞台裏	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004635		○	
22 1 F	廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	009283		○	
23 1 F	廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004637		○	
24 1 F	客席裏	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	007956		○	
25 1 F	客席横	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004648		○	
26 1 F	客席横	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004634		○	
48 1 F	廊下	粉 末	29-15	3.0Kg	ニホンドライ	2018	C026486	蓄圧式	○	
27 2 F	廊下	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004645		○	
28 2 F	倉庫前	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004619		○	
29 2 F	階段前	中性強化液	25-12	3.0ℓ	ヤマト	2020	004643		○	
30 2 F	映写室	二酸化炭素	25-7	2.4Kg	ニホンドライ	2021	02343		○	
31 2 F	階段前	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106017	蓄圧式	○	
32 2 F	映写室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106029	蓄圧式	○	
33 2 F	投光室	粉 末	27-60-1	3.0Kg	ヤマト	2020	106006	蓄圧式	○	

注) 判定欄の記入方法 良好な場合...○ 不良な場合...×

[illegible]

④) 判定欄の記入方法 良好な場合…○ 不良な場合…×

ス プ リ ン ク ラ ー 設 備 点 検 票						(閉鎖・開放併設)	
名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)				防 火 管理者		
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600				立会者		
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日			
点 検 者	氏名		点 検 者	社名	TEL		
			所属会社	住所			
点 検 設 備 名	ポンプ	製造者名 (株) エバラ製作所		電動機・ 内燃機関	製造者名 (株) 東芝		
		型 式 等 150MSFPJ 2645 1995年			型 式 等 TIKK-DBK8		
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容		
		種別・容量等の内容		判定	不 良 内 容		
		機 器		点	検		
水 源 (水道の用に 供する水管を 水源とするも のを除く。)	貯 水 槽	種別 地下水槽		○			
	水 量	有効水量		○			
	水 状			○			
	給 水 装 置	ボールタップ方式		○			
	水 位 計	電極方式		○			
	圧 力 計			/			
	バ ル ブ 類			○			
加 圧 送 水 装 置 電 動 機 ・ 内 燃 機 関 の 制 御 装 置	周 囲 の 状 況	ホール棟地階ポンプ室		○			
	外 形	自立型		○			
	表 示	エバラ NPMB29N-45S		○			
	電圧計・電流計	210 V 200 A		○			
	回 転 計			/			
	開閉器・スイッチ類	MCB-3P-225A		○			
	ヒューズ類			○			
	継 電 器			○			
	表 示 灯			○			
	結 線 接 続			○			
	接 地	D種		○			
	予 備 品 等	ヒューズ、ランプ		○			

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

加 圧 送 水 装 置	起 動 部	手操	周囲の状況	制御盤	○			
		動式	外 形	押ボタン	○			
		起	表 示		○			
		動部	機 能		○			
	装 置	自動 起 動 装 置	開	圧力スイッチ	設定圧力	0.4 MP a	○	
			閉	起動用圧		0.78 MP a	○	
			機	カタンク				
			能	機 能	作動圧力	0.38 MP a	○	
	火災 感 知 装 置	知 器	専用	兼用	／			
		閉 鎖 型	閉鎖型	264コ、開放型96コ	○			
	電 動 機 ・ 内 燃 機 関	外 形			○			
		回 転 軸	1740rpm/220V		○			
		軸 受 部			○			
		軸 継 手			○			
		燃 料			／			
		機 能	スターデルタ始動		○			
	ボ ン プ	外 形	150Φ×2700ℓ/min×64m×45kw		○			
		回 転 軸	1800rpm		○			
		軸 受 部			○			
		グ ラ ン ド 部			○			
		連成計・圧力計			○			
		性 能	0.63 MP a	2700 L/min	○			
	呼 水 装 置	呼 水 槽		100 L	○			
		バ ル ブ 類			○			
		自動 給水 装置	ボールタップ方式	20A複式	○			
		減水 警報 装置	電極式 (NET・TENへ移報)		○			
		フ ー ト 弁	NFTA-150		○			
性 能 試 験 装 置		FBM(20)-80		○				
補 助 水 槽	貯 水 槽	塔屋 1F	500ℓ	○				
	水 状			○				
	給 水 装 置	ボールタップ方式		○				
	バ ル ブ 類			○				
高 架 水 槽 方 式		MP a	／					
圧 力 水 槽 方 式		MP a	／					
減 圧 の た め の 措 置			／					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

配管等	管・管継手		○		
	支持金具・つり金具		○		
	バルブ類		○		
	ろ過装置		○		
	逃し配管		○		
	流水検知装置二次側配管		○		
	標識		○		
送水口	周囲の状況	屋外	○		
	外形	双口型	○		
	標識		○		
スラブリヘンクト	外形		○		
	感熱障害		○		
	散水分布障害		○		
	未警戒部分		○		
	適応性		○		
流水検知装置・	バルブ本体等	1 MPa	○		
	リターディング・チャンバー		/		
	圧力スイッチ	設定圧力 0.01 MPa 作動圧力 0.01 MPa	○		
	音響警報装置・表示装置	非常放送連動	○		
	減圧警報装置		/		
一斉開放弁(電磁弁を含む。)			○		
排水設備			○		
補助散水栓箱等	補助散水栓箱	周囲の状況	22栓	○	
		外形	鑑栓第63-12-14号×9, 鑑栓第63-23-7号×1, 鑑栓第63-13-3号×12 計22栓	○	
		表示		○	
	ホース・ノズル	外形	ホース 20 m× 1 本 ノズル径 8 mm	○	
		操作性		○	
	補助散水栓開閉弁			○	
	表示灯			○	
	使用方法の表示			○	
	降下装置	周囲の状況		/	
		外形		/	
		表示灯		/	
		表示		/	
		機能		/	
耐震措置		フレキシブル	○		

考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

		総 合 点 検			
閉鎖型 スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧 送水 装置		
			表示 ・ 警報等		
			電動機の運転電流	A	
			運 転 状 況		
		放水圧力		MP a	
			減圧のための 措置		
	高架水槽等	方式	表示 ・ 警報 等		
			放 水 圧 力	MP a	
			減圧のための措置		
	水道連結式	方式	放 水 圧 力	MP a	
			減圧のための措置		
開放型 スプリンクラー設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧 送水 装置		
			表示 ・ 警報等		
			電動機の運転電流	A	
			運 転 状 況		
		一斉開放弁			
			減圧のための 措置		
	高架水槽等	方式	表示 ・ 警報 等		
			一 斉 開 放 弁		
			減圧のための措置		
	水道連結式	方式	一 斉 開 放 弁		
			減圧のための措置		

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

補 助 散 水 栓	ポンプ 性能等	加圧 送水 装置				
		表示 ・ 警報等				
		電動機の運転電流	A			
		運 転 状 況				
	放水 方式	放 水 圧 力	MPa			
		放 水 量	L/min			
		減圧のための 措置				
	高架 水槽 方式等	表示 ・ 警報等				
		放 水 圧 力	MPa			
		放 水 量	L/min			
		減圧のための 措置				

備

	流量 (ℓ/min)	圧力計 (MPa)	連成計 (MPa)	運転電 (A)
締切運転	—	0.77	-0.01	73
性能試験	2700	0.63	-0.02	135

名 称	1 次 圧 (MPa)	2 次 圧 (MPa)	起動圧力 (MPa)	放水圧力 (MPa)
ホール棟舞台系統	0.78	0.78	—	—
ホール棟 1 F 系統	0.78	0.84	—	—
ホール棟 2 F 系統	0.70	0.70	—	—
ホール棟 3 F 系統	0.65	0.65	—	—
管理棟	0.72	1.00	—	—
研修棟	0.71	0.75	—	—

考

※ 警報はNET10とNET10副盤にあがる（呼水槽、消火水槽「満水・減水」）

※ 塔屋1F 補給水槽有り 500ℓ

※ 非常放送連動はホール棟 舞台、1F、2F、3F系統のみ

測定機器

機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
ピトゲージ	0～1.5MPa		(株)赤尾				
マイスター	CD-770		三和電気				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

粉末消火設備点検票				(区画名：)	
				(設備方式： 全域・局所・ 移動)	
名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	---
点検種別	機器 ・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名		点 検 者	社名	TEL
			所属会社	住所	
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容	
蓄 圧 式 粉 末 消 火 剤 貯 蔵 容 器 等	機	器	点	検	
	消 火 剤	周囲の状況		/	
	貯蔵容器	外 形		/	
		表示・標識		/	
	※消 火 剤 量		本	/	
	容 器 弁	外 形		/	
		安 全 性		/	
	安全装置	外 形		/	
		安 全 性		/	
	容 器 弁	外 形		/	
加 圧 式 粉 末 消 火 剤 貯 蔵 容 器 等	開放装置	電 気 式		/	
		ガ ス 圧 式		/	
	指 示 圧 力 計		MP a	/	
	バ ル ブ 類			/	
	連 結 管 ・ 集 合 管			/	
	消 火 剤	周囲の状況	地下空調機械室	○	
	貯蔵タンク	外 形		○	
		表示・標識		○	
		安 全 装 置		○	
	消 火 剤 量	第3種粉末	33 kg	○	
放 出 弁			○		
加 圧 用 ガ ス 容 器 等	放 出 弁	外 形	手動式レバー	○	
	開放装置	電 気 式		/	
		ガ ス 圧 式		/	
	バ ル ブ 類			○	
	加圧用	周囲の状況		○	
	ガ ス	外 形	二酸化炭素	820 g	○
	容 器	表 示		○	
	※ ガ ス 量		1 本	○	
	容 器 弁	外 形	よー069号(クリーニング用も)	○	
		安 全 性		○	
ガ ス 容 器 等	安 全 装 置	外 形		○	
		安 全 性		○	
	容 器 弁	外 形	手動式バルブ	○	
	開放装置	電 気 式		/	
		ガ ス 圧 式		/	
	バ ル ブ 類			/	
	圧 力 調 整 器			/	
	連 結 管 ・ 集 合 管			○	
	定 圧 作 動 装 置			/	

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 ※印のあるものは、(その5)に容器ごとの点検結果を記入すること。

起動用ガス容器等	起動用ガス容器	外形表示		／			
	※ガス量		本	／			
	容器弁	外形		／			
		安全性		／			
	安全装置	外形		／			
		安全性		／			
選択弁	容器弁開放装置	外形		／			
		電気式		／			
		手動式		／			
	本体	外形		／			
		表示		／			
		機能		／			
開放装置	外形		／				
	電気式		／				
	ガス圧式		／				
操作管・逆止弁	外形		／				
	機能		／				
起動装置	手動式起動装置	周囲の状況		／			
		操作箱		／			
		表示		／			
		電源表示灯		／			
		音響警報起動用ス イ ッ ヅ		／			
		放出用・非常停止用ス イ ッ ヅ		／			
		表示灯		／			
		保護カバー		／			
	自動式起動装置	火災感知装置	専用	兼用	／		
		自動・手動切替装置			／		
自動・手動切替表示灯				／			
警報装置	外形		／				
	音響警報		／				
	音声警報		／				
制御盤	周囲の状況		／				
	外形		／				
	表示		／				
	電圧計	V	／				
	開閉器・スイッチ類		／				
	ヒューズ類	A	／				
	継電器		／				
	表示灯		／				
	結線接続		／				
	接地		／				
	遅延装置	秒	／				
	自動・手動切替機能		／				
予備品等		／					

- この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- ※印のあるものは、（その 5）に容器ごとの点検結果を記入すること。

配管等	管 ・ 管 継 手		／		
	支持金具 ・ つり金具		／		
配管の安全装置等	安 全 装 置		／		
	破 壊 板		／		
放 出 表 示 灯			／		
噴射ヘッド	外 形		／		
	放 射 障 害		／		
防 護 区 画	区 画 変 更 等		／		
	開口部の 自動閉鎖 装置	外 形	／		
		電 気 で 作 動 す る も の	／		
		ガ ス 圧 で 作 動 す る も の	／		
非 常 電 源 (内蔵型)	外 形		／		
	表 示		／		
	端 子 電 圧	V	／		
	切 替 装 置		／		
	充 電 装 置		／		
	結 線 接 続		／		
ホ ー ス 等	周 囲 の 状 況		○		
	格 納 箱		○		
	ホ ー ス	15 m	○		
	ホ ー ス リ ー ル		／		
	ノ ズ ル		○		
	ノ ズ ル 開 閉 弁		○		
表 示 灯 ・ 標 識 (移動式) 兼用			○		
耐 震 措 置 アンカーボルト止め			○		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

		総 合 点 検						
全 域 放 出 方 式 ・ 局 所 放 出 方 式 ・ 移 動 式	全 域 放 出 方 式	警 報 装 置						
		遅 延 装 置		秒				
		開口部の自動閉鎖 装 置 等						
	局 所 放 出 方 式	起動装置・選択弁						
		配 管・配管接続部						
		放 出 表 示 灯						
	移 動 式	警 報 装 置						
		起動装置・選択弁						
		配 管・配管接続部						
	ノ ズ ル 開 閉 弁							
ホース・ホース接続部								
日本ドライ C-445号 1996年 No.0723 PAN-100EM型 加圧ガス容器 2012年8月製 容器弁2012年7月製 クリーニングガス容器 2012年8月製 容器弁2012年4月製 ※ 2019年9月12日 加圧用ガス容器バルブ開放試験実施								
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	秤量計	0～30kg		ヤマト				
	マルチスター	CD-770		三和電気				
	レベルメーター	HLM-808		秀平電機				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

自動火災報知設備点検票

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名	点 検 者	社名	TEL	
		所属会社	住所		
点 検 設 備 名	受 信 機	製 造 者 名			
		型 式 等 HRN-AFW510 型式 受第24-2号 2018年製			
点 検 項 目		点 検 結 果		措 置 内 容	
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
予非 (内蔵 電源型)	外 形 示	密閉形ニッケル・カドミウム蓄電池 20-S108A 品評予第13-6号 DC24V 6Ah/5HR 2018年製 古河電池㈱	○		
	※端子電圧		○		
	※切替装置	自動切替	/		
	※充電装置	トリクル	/		
	※結線接続	コネクタ式	/		
	周囲の状況	管理棟2階事務室	○		
受 信 機 中 心 器	外 形 示	GR型1級 自立型	○		
	警戒区域の表示装置	35/60	○		
	電 圧 計	交流電源表示灯	○		
	ス イ ッ チ 類		○		
	ヒ ュ ー ズ 類	1、2、3、15 A	○		
	※継 電 器		/		
	表 示 灯		○		
	通 話 装 置		○		
	※結線接続		/		
	接 地	D種接地工事	○		
	附 属 装 置	警備保障(山陰警備)、副盤×2台、 誘導灯信号装置	○		
	※火災表示等	蓄 積 式		/	
		アナログ式		/	
		二 信 号 式		/	
そ の 他			/		
※注 意 表 示		/			
回 路 導 通		○			
設定表示温度等		/			
感知器作動等の表示		/			
予 備 品 等	ヒューズ、警戒区域図等	○			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

感 知 器	外 形		○			
	警 戒 状 況	未 警 戒 部 分		○		
		感 知 区 域		○		
		適 応 性		○		
		機 能 障 害		○		
	※ 熱 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	（点検） （定温） 熱アナログ	/		
		分 布 型	空 気 管 式	/		
			熱 電 対 式・ 熱 半 導 体 式	/		
			感 知 線 型	/		
	※ 煙 感 知 器	ス ポ ッ ト 型	イオン （光電） アナログ	/		
		分 離 型	/			
	※ 炎 感 知 器	赤外線 紫外線	/			
	※ 多 信 号 感 知 器・ 複 合 式 感 知 器	/				
	遠隔試験機能を有する感知器	/				
	発 信 機	周 囲 の 状 況	各階	○		
外 形		P型1級	○			
表 示			○			
押しボタン・送受話器			○			
表 示 灯		AC24V	○			
音 響 装 置	外 形	非常放送連動	○			
	取 付 状 態		○			
	音 圧 等	受信機主音響	○			
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	/			
※ 蓄 積 機 能	/					
※ 二 信 号 機 能	/					

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
 7 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

自動試験機能	予備電源・非常電源		○					
	受信機 の 火災表示		○					
	受信機 の 注意表示		○					
	受信機・中継器の制御機能 : 電 路		○					
	感 知 器		○					
	感知器回路・ベル回路		○					
無線機能		／						
総 合 点 検								
同時作動								
※煙感知器等の感度								
地区音響装置の音圧								
※総 合 作 動								
備考								
測定機器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器	HK-3		保守協会	メーターリレー 試験器	MT-10S		沖電機
	加煙試験器	FTGJ001-Z		能美防災	普通騒音計	TYPE3604		横河電機
	外部試験器	S-11		横河電機	マルチテスター	CD-770		三和電気
	煙感知器用感度試験器	JFA-II		火報工業会	ストップウォッチ	W610		セイコー
	減光フィルター	TSK-A100		ホーチキ				

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
- 7 表中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

警 戒 区 域		感 知 器														※	発	点		
番 号 No.	名 称	差 動 式			定温式		熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式								※	地 区 音 響 装 置	機	検 結 果	
		※ 分布型			ス ポ ッ ト 型	ス ポ ッ ト 型		※ 感 知 線 型	スポット型				分離型							
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式	光 電 ア ナ ロ グ 式						
								非 蓄 積	蓄 積	非 蓄 積	蓄 積	イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	非 蓄 積	蓄 積					
1	研修棟1階多目的ルーム、 他				9						2						1	○		
2	研修棟1階中央、和室、 他				5	2					1						1	○		
3	研修棟1階クッキングルーム				4	5					4						1	○		
4	研修棟2階会議室				3												1	○		
5	研修棟2階中央、ラウンジ				1												1	○		
6	研修棟2階セミナー室1～2				2						4						1	○		
7	研修棟階段										1							○		
8	管理棟1階展示室、厨房				1						2						1	○		
9	管理棟展示ホール、廊下										5							／		
10	管理棟1階ライブラリー、他										6						2	○		
11	管理棟2階グループ活動 室、他				6												1	○		
12	管理棟2階館長室、 事務室				5	1					1						2	○		
13	管理棟エレベーター機械室 側天井裏										2						1	○		
14	エレベーター機械室				2													○		
15	エレベーターシャフト										1							○		
16	管理棟3階排煙機械室										2							○		
17																		／		
合 計					38	8					31						13			
備 考																				
考																				

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、（その7）に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

警戒区域		感 知 器														※ 発 点		
番 号 No.	名 称	差 動 式			定温式			熱 ア ナ ロ グ 式 ス ポ ット 型	※ 煙 式								※ 地 区 音 響 装 置	機 果
		※ 分布型			ス ポ ット 型	ス ポ ット 型	※ 感 知 線 型		スポット型				分離型					
		空 気 管 式	熱 電 対 式	熱 半 導 体 式					イ オ ン 化 式	光 電 式		イ オ ン 化 ア ナ ロ グ 式	光 電 ア ナ ロ グ 式	光 電 式		光 電 ア ナ ロ グ 式		
										非 蓄 積	蓄 積			非 蓄 積	蓄 積			
18																	／	
19																	／	
20																	／	
21	1階下手側ビット内									3							1／	
22	1階、奈落上手側ビット内									8							1／	
23	1階、機械室電気室、受 水増室									8							○	
24	1階、紗仁 母子室 下手側廊下									13							2○	
25	1階、ビートル楽屋、練習室					2				21							2○	
26	1階荷解室									1							1／	
27	2階調光室、映写室、 調音室、機械室									7							2／	
28	2階調光室、 投光室 (1)									2							1／	
29	2階展示ビートル投光室 (2)									4							1／	
30	3階センターピン室倉庫、 休憩室									4							1／	
31	1階客席									11							／	
32	天井裏 センターピン室									2							／	
33	天井裏 (1)									6							1／	
34	天井裏 (2)									5							1／	
合 計						2				95							14	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
 3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
 4 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
 5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 受信機の表示番号又は警戒区域ごとに個数を記入すること。
3 ※印のあるもので不良のものは、(その7)に機器ごとの点検結果を記入すること。
4 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、点検の際措置した内容は備考欄に記入すること。
5 警戒区域内の感知器の個数が1の場合、階ごとに感知器の個数を記入すること。

非常警報器具及び設備点検票

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日
点 検 者	氏名		点 検 者	社名 TEL
			所属会社	住所
点 検 設 備 名	操作部・ 複合装置	製造者名 TOA株式会社 型 式 等 RM-2500 2022年 認許放第2019-9号	増幅器	製造者名 TOA株式会社 型 式 等 FS-2500DF
点 検 項 目		点 検 結 果		措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容
		機 器 点 検		
非常電源 (内蔵型)	外 形	ニッケルカドミウム 古河電池器 20N-6000F	○	
	表 示	DC 24V 6Ah/5HR 2022年	○	
	端子電圧		○	
	切替装置	自動切替	○	
	充電装置	トリクル	○	
	結線接続	コネクタ式	○	
非常ベル・自動式サイレン	起 動	周 囲 の 状 況	/	
	装 置	外 形	/	
		表 示	/	
		機 能	/	
	操 作 部	外 形	/	
		表 示	/	
		電 圧 計	V /	
		ス イ ッ チ 類	/	
	複 合 装 置	ヒ ュ ー ズ 類	A /	
		継 電 器	/	
		表 示 灯	/	
		結 線 接 続	/	
	ベル・サイレン	接 地	/	
		予 備 品 等	/	
		外 形	/	
取 付 状 態		/		
	音 圧 等	/		
	鳴 動 方 式	一斉 区分 相互 再鳴動	/	
	表 示 灯	/		

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

起 動 装 置	周 囲 の 状 況	管理棟 2 F 事務室	○		
	外 形		○		
増 幅 送 器 等	押 し ボ タ ン 等		○		
	発信機・非常電話		○		
増 幅 送 器 等	自動火災報知設備 との連動		○		
	周 囲 の 状 況		○		
増 幅 送 器 等	外 形		○		
	表 示		○		
増 幅 送 器 等	電 圧 計	主電源灯	○		
	ス イ ッ チ 類		○		
増 幅 送 器 等	保 護 板		○		
	ヒ ュ ー ズ 類	1、2 A	○		
増 幅 送 器 等	継 電 器		○		
	計 器 類		○		
増 幅 送 器 等	表 示 灯		○		
	結 線 接 続		○		
増 幅 送 器 等	接 地	D種	○		
	回 路 選 択	15/40	○		
増 幅 送 器 等	2以上の操作部等	ホール棟 1 F、ホール棟 2 F	○		
	遠隔操作器の連動		○		
増 幅 送 器 等	非常用放送切替		○		
	※地震動予報等 に係る放送切替		/		
増 幅 送 器 等	回 路 短 絡		○		
	音 声 警 報 音		○		
増 幅 送 器 等	火 災 音 信 号		○		
	マイクロホン		○		
増 幅 送 器 等	予 備 品 等		/		
	外 形		○		
増 幅 送 器 等	取 付 状 態		○		
	音 圧 等		○		
増 幅 送 器 等	鳴 動 方 式	① 区分 ② 再鳴動	○		
	音 量 調 整 器		○		
増 幅 送 器 等	表 示 灯		○		
	周 囲 の 状 況		/		
警 告 機 等	外 形		/		
	機 能		/		

考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第二十五条の二第二項第三号リに規定する地震動予報等に係る放送を行う場合に限る。

総 合 点 検																																	
音響装置・スピーカーの音圧																																	
総 合 作 動																																	
1. 管理情報棟 1 階 2. 管理情報棟 2 階 3. 管理情報棟エレベーター 4. 研修創作棟 1 階 5. 研修創作棟 2 階 備 6. ホール棟客席 7. ホール棟舞台 8. ホール棟奈落 9. ホール棟ホワイエ・ロビー 10. ホール棟機械室 11. ホール棟 1 階 12. ホール棟 2 階 13. ホール棟 3 階 14. ホール棟階段 15. アトリエ グループ 研修創作棟 管理情報棟 考																																	
測 定 機 器	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 器 名</th> <th>型 式</th> <th>校正年月日</th> <th>製造者名</th> <th>機 器 名</th> <th>型 式</th> <th>校正年月日</th> <th>製造者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通騒音計</td> <td>TYPE3604</td> <td></td> <td>横河電機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>マイク</td> <td>CD-770</td> <td></td> <td>三和電気</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	普通騒音計	TYPE3604		横河電機					マイク	CD-770		三和電気												
機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名																										
普通騒音計	TYPE3604		横河電機																														
マイク	CD-770		三和電気																														

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

避難器具点検票					避難はしご			
名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)				防 火 管理者			
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600				立会者			
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日				
点 検 者	氏名	点 検 者		社名	TEL.			
		所属会社		住所				
設 置 階	研修棟 2 階							
設 置 場 所	会議室 (3) ベランダ							
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容			
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容				
		機 器	点	検				
周 囲 の 状 況 標 識 器 具 本 体	設 置 場 所		○					
	操 作 面 積 等		○					
	開 口 部		○					
	降 下 空 間		○					
	避 難 空 地		○					
	標 識		○					
	避 難 は し ご	縦 棒		○				
		横 さ ん		○				
		突 子		/				
		結 合 部 等		○				
		可 動 部	外 形		○			
			機 能		○			
		つり下げ金具		○				
	緩 降 機	調 速 機	外 形		/			
			機 能		/			
調速機の連結部			/					
ロ ー プ			/					
着 用 具			/					
ロープと着用具の緊結部			/					
す べ り 台	底 板 及 び 側 板			/				
	すべり面の勾配			/				
	手 す り			/				
	す べ り 棒			/				
避 難 ロ ー プ	ロ ー プ 本 体			/				
	結 合 部			/				
	つり下げ金具			/				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

器 具 本 体	避難橋	床板、手すり等		／				
		接合部		／				
		可動部	外形	／				
			機能	／				
	避難用タラップ	踏み板、手すり等		／				
		接合部		／				
		可動部	外形	／				
			機能	／				
	救助袋	本体布及び展張部材		／				
		縫い合せ部		／				
		保護装置 (斜降式の救助装置に限る)		／				
		結合部		／				
取付具・支持部	可動部	外形	／					
		機能	／					
	取付具	固定環	／					
		ハッチ	上蓋	○				
下蓋	○							
使用方法の表示	○							
格納状況	格納箱	／						
	格納状況	○						
総 合 点 検								
器具の取付け等								
降下								
格納								
備 考	金属製避難吊り下げはしご (ハッチ式)							
	は第61-7-2号 長さ 3.4m , 自重 23.8kg 1994年9月製 松本機工 (株)							
測 定 機 器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名
	トルシ	1900F		トニチ				

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

誘導灯及び誘導標識点検票

設置階 全 階

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)				防 火 管理者		
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600				立会者		
点検種別	機器		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日			
点 検 者	氏名		点 検 者	社名 TEL.			
			所属会社	住所			
点 検 項 目		点 検 結 果				措 置 内 容	
		種別・容量等の内容			判定		不 良 内 容
		避難口	通 路	客 席			
機 器 点 検							
誘 導 灯	外 箱 ・ 表 示 面	種 類				○	
		視 認 障 害 等				○	
		外 形				○	
		表 示				○	
	非常電源 (内蔵型)	外 形			/	○	
		表 示			/	○	
		機 能			/	○	
	光 源					○	
	点 検 ス イ ッ チ				/	○	
	ヒ ュ ー ズ 類					○	
結 線 接 続					○		
信号 装置 等	外 形		/	/	○		
	結 線 接 続		/	/	○		
	機 能		/	/	○		

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号ハ並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号（5）に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯設置一覧表

(設置階 全 階)

設置場所	避難口誘導灯			通路誘導灯			誘導標識		
	A級	B級	C級	A級	B級	C級			避難口 通路
管理棟 1階		5	1		1				
管理棟 2階、塔屋		6	1		2				
研修棟 1階		7			1				
研修棟 2階		5			2	1			
ホール棟 地階		5							2
ホール棟 1階		19			2				3
ホール棟 2階		10							2
ホール棟 3階		2							
ホール棟 塔屋1階		4							3
合 計		63	2		8	1			10

備 考	※ ホール棟1階 客席誘導灯	34台 (非常電源は蓄電池設備より)
	ホール棟階段通路誘導灯	31台
	管理棟階段通路誘導灯	4台
	センター棟誘導灯信号装置	松下電工㈱ FF90053
	ホール棟誘導灯信号装置	松下電工㈱ FF90053

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

排 煙 設 備 点 検 票

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名	点 検 者	社名	TEL	
		所属会社	住所		
点 検 設 備 名	排 煙 機		製 造 者 名	(株) テラルキョクトウ	
			型 式 等	AES-F (R)	
点 検 項 目			点 検 結 果		措 置 内 容
種別・容量等の内容			判定	不 良 内 容	
機 器			点 検		
防 煙 区 画 壁	固 定 壁		／		
	可動壁	周 囲 の 状 況	／		
		外 形	／		
		機 能	／		
排 煙 口 ・ 給 気 口	周 囲 の 状 況	シーリング室排煙口×2枚	○		
	外 形		○		
	機 能		○		
風 道	周 囲 の 状 況		○		
	外 形		○		
	支 持 部		○		
	防 火 ダ ン パ ー		○		
	接 続 部		○		
電 機 制 御 機 器 の 制 御 装 置	制 御 盤	周 囲 の 状 況	ホール棟 屋根裏	○	
		外 形		○	
	表 示		○		
	電 圧 計 ・ 電 流 計	220 V	○		
	開 閉 器 ・ スイッチ類	MCB-3P-125A	○		
	ヒ ュ ー ズ 類	1 A	○		
	継 電 器		○		
	表 示 灯		○		
	結 線 接 続		○		
	接 地		○		
	予 備 品 等		／		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

起 動 装 置	自動式起動装置			／				
	手 動 式 起 動 装 置	周囲の状況	ホール棟1F客席上部×1	○				
		外形		○				
		表示		○				
		ハンドル・レバー等		／				
排 煙 機 ・ 給 気 機	電 動 機	外形		○				
		回転軸	1180rpm	○				
		軸受部		○				
		動力伝達装置		／				
	回 転 羽 根 等	機能		○				
		回転軸		○				
	軸受部		○					
排煙出口			○					
総 合 点 検								
排煙機・給気機								
可動壁								
電動機の運転電流			A					
運転状況								
回転羽根								
備 考	※客席系統（受信機→No.21 シーリング室排煙口） MC-R-1							
測 定 機 器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名
	マルチスカー	CD-770		三和電気				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

排 煙 設 備 点 検 票

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名		点 検 者	社名 TRI	
			所属会社	住所	
点 検 設 備 名	排 煙 機		製 造 者 名 (株) テラルキョクトウ		
			型 式 等		
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
防 煙 区 画 装 置	固 定 壁		/		
	可動壁	周 囲 の 状 況	/		
		外 形	/		
		機 能	/		
排 煙 口 ・ 排 気 口	周 囲 の 状 況	すのこ上部排煙口×1枚	○		
	外 形		○		
	機 能		○		
	風 道	周 囲 の 状 況		○	
風 道	外 形		○		
	支 持 部		○		
	防 火 ダ ン パ ー		○		
	接 続 部		○		
電 気 装 置	制御盤	周 囲 の 状 況	ホール棟 屋根裏	○	
		外 形	自立型	○	
	表 示		○		
	電 圧 計 ・ 電 流 計	220 V	○		
開 閉 器 ・ スイッチ類	開 閉 器 ・ スイッチ類	MCB-3P-75A ※	○		
	ヒ ュ ー ズ 類	1 A	○		
	継 電 器		○		
	表 示 灯		○		
結 線 接 続	結 線 接 続	※※	○		
	接 地		○		
	予 備 品 等		/		

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

起 動 装 置	自動式起動装置			／				
	手 動 式 起 動 装 置	周囲の状況	ホール棟1F舞台×2	○				
		外形		○				
		表示		○				
	ハンドル・レバー等			／				
排 煙 機 ・ 給 気 機	外形			○				
	電 動 機	回転軸	1180rpm	○				
		軸受部		○				
		動力伝達装置		／				
		機能		○				
	回転羽根等	回転軸		○				
軸受部			○					
排煙出口			○					
総 合 点 検								
排煙機・給気機								
可動壁								
電動機の運転電流			A					
運転状況								
回転羽根								
備 考	※舞台系統（受信機→NO. 22すのこ上部排煙口） MC-R-2							
測 定 機 器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	マイクスター	CD-770		三和電気				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非常電源(自家発電設備)点検票 (設備名: スプリンクラー、排煙)

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名 一	点 検 者 社名 住所	TEL.		
点 検 設 備 名	原動機	製造者名 ヤンマーエネルギーシステム (株)	発電機	製造者名 オーハツ (株)	
		型 式 等 6HAL2-T 2022年11月		型 式 等 CDB、OSC-520 2022年12月	
点 検 項 目	点 検 結 果			措 置 内 容	
	種別・容量等の内容		判定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
設 置 状 況 点 検 表	周 囲 の 状 況	BF1 電気室	○		
	区 画 等	キュービクル式 キュービクル式以外	○		
	水 の 浸 透		○		
	換 気	自然 機器	○		
	照 明		○		
	標 識	発電設備	○		
自 家 発 電 装 置	原 動 機・発 電 機	種類: ディーゼル / 200 kW (250KVA)	○		
	冷 却 装 置	ラジエータ、配管等	○		
		冷 却 フ ァ ン	○		
		潤 滑 油 類	○		
		その他の 付属 機器類	○		
始 動 装 置	※ 始動用蓄電池設備		○		
	始 圧 外 形		/		
	動 縮 空 気 だ め		/		
	用 空 設 潤 滑 油 類		/		
	気 備 始 動 用 燃 料		/		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 票中※印のあるものは、非常電源(蓄電池設備)点検票を添付すること。

制 御 装 置	周 囲 の 状 況		発電機内蔵	○		
	発 電 機 盤			○		
	自 動 始 動 盤			○		
	補 機 盤			○		
	電 源 表 示 灯			○		
	表 示 灯			○		
	開 閉 器 ・ 遮 断 器		MCB-3P-800A	○		
	ヒ ュ ー ズ 類		3 A	○		
	継 電 器			○		
保 護 装 置			○			
計 器 類			○			
燃料容器等	外 形			○		
	燃 料 貯 蔵 量	種類軽油	90/130L	○		
冷 却 水 タ ン ク	外 形			○		
	水 量			○		
排 気 筒	周 囲 の 状 況			○		
	外 形			○		
	貫 通 部			○		
配 管			○			
結 線 接 続			○			
接 地			D種接地工事	○		
始 動 性 能				/		
運転性能	運 転 状 況		220V 62.5Hz 1875min-1	/		
	換 気			/		
停止性能	手 動 停 止			/		
	自 動 停 止			/		
耐 震 措 置			○			
予 備 品 等			/			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 票中※印のあるものは、非常電源(蓄電池設備)点検票を添付すること。

総 合 点 検									
接 地 抵 抗	種 種	Ω							
絶 縁 抵 抗		$M\Omega$							
自家発電装置の接続部									
始 動 装 置	※ 始動用蓄電池設備								
	始動用 空気圧縮 設備		L						
	始 動 補 助 装 置								
保 護 装 置									
運 転 性 能	負 荷 運 転		k W						
	内 部 観 察 等								
切 替 性 能	運 転 切 替 性 能								
	※蓄電池 切 替 性 能								
	始動用 燃料 切替性能								
備 考	電気主任技術者 氏名及び資格 ヤンマーエネルギーシステム (株) YAP250G 250KVA (200kw) 2YZ-3079 2022年12月 ○「発電機異常」のみ 管理棟2F事務室NET10とNET10副盤へ移報 負荷運転又は内部観察等の最終実施年月 (年 月) 潤滑油圧力計 : 潤滑油温度計 : 冷却水温度計 :								
	測 定	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	機 器	絶縁抵抗計	DM-5257		三和電気				
		マルチスター	CD-770		三和電気				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、非常電源(蓄電池設備)点検票を添付すること。
- 7 票中※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項(6)に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。

非常電源(蓄電池設備)点検票

(設備名: 自家発電設備)

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)			防 火 管理者	---
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600			立会者	
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日	
点 検 者	氏名		点 検 者	社名	TEL
			所属会社	住所	
点 検 設 備 名	蓄電池	製造者名	エナジーウィズ(株)	充 電 装 置	製造者名
		型 式 等	MJS-150 12セル 2022年12月		型 式 等
	逆変換 装 置	製造者名		直交変 換装置	製造者名
		型 式 等			型 式 等
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容	
機 器		点 検			
設 置 状 況	周 囲 の 状 況	自家発電内蔵	○		
	区 画 等	キュービクル式 キュービクル式以外	○		
	水 の 浸 透		○		
	換 気	自然 機械	○		
	照 明		/		
	標 識		/		
蓄 電 池	外 形	24V 150Ah (10時間率)	○		
	表 示	21C3218	○		
	電 解 液		○		
	減液警報用電極		/		
	液漏れ警報用電極		/		
	総 電 圧	26.4 V	○		
	セ ル 電 圧	2.2 V	○		
	負 荷 容 量		○		
	均 等 充 電		○		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

充 電 電 装 置	外 形		○		
	表 示		○		
	開 閉 器・遮 断 器		○		
	交 流 入 力 電 圧	206.6 V	○		
	トリクル・浮動・ 定電流定電圧充電電圧	トリクル (浮動) 定電流定電圧 26.4 V	○		
	均 等 充 電 電 圧	28.0 V	○		
装 置	出 力 電 流		○		
	負 荷 電 圧		○		
	負 荷 電 流		○		
	自 動 充 電 切 替		○		
	接 地		○		
逆 変 換 装 置	外 形		/		
	表 示		/		
	開 閉 器・遮 断 器		/		
	交 流 出 力 電 圧		/		
	交 流 出 力 電 流		/		
	周 波 数		/		
直 交 変 換 装 置	接 地		/		
	外 形		/		
	表 示		/		
	開 閉 器・遮 断 器		/		
	交 流 入 力 電 圧		/		
	充 電 電 圧		/		
	充 電 電 流		/		
	交 流 出 力 電 圧	V	/		
交 流 出 力 電 流	A	/			
接 地		/			
結 線 接 続		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

ポンプ	外 形		／					
	性 能		／					
タンク・配管等			／					
制御装置			／					
耐震措置			○					
予備品等			○					
総 合 点 検								
接地抵抗		種 類	Ω					
絶縁抵抗			MΩ					
容量								
切替装置								
電圧計・周波数計								
警報動作								
減液警報装置								
液漏れ警報装置								
電圧調整範囲								
負荷電圧補償装置								
タイマー								
電気主任技術者 氏名及び資格								
※ 蓄電池 2022年12月製 (蓄電池の交換目安 2036年3月迄)								
備考								
測定機器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	絶縁抵抗計	DM-5257		三和電気				
	マルチテスター	CD-770		三和電気				

- 考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

非常電源(蓄電池設備)点検票 (設備名: ホール客席灯)						
名称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)				防火 管理者	
所在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600				立会者	
点検種別	機器・総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日		
点検者	氏名	点検者		社名	TEL	
		所属会社		住所		
点検 設備名	蓄電池	製造者名 古河電池㈱		充電 装置	製造者名 古河電池㈱	
		型式等 MSE-100-6 18セル			型式等 24D890	
	逆変換 装置	製造者名		直交変 換装置	製造者名	
		型式等			型式等	
点検項目		点検結果			措置内容	
		種別・容量等の内容		判定	不良内容	
機 器 点 検						
設 置 状 況	周囲の状況	B1F電気室		○		
	区画等	キュービクル式 キュービクル式以外		○		
	水の浸透			○		
	換気	自然 機械		○		
	照明			/		
	標識			○		
蓄 電 池	外形	108V 100Ah (10時間率) 2025年2月		○		
	表示	認定番号 23F359		○		
	電解液			/		
	減液警報用電極			/		
	液漏れ警報用電極			/		
	総電圧	119 V		○		
	セル電圧	18セル 6.6 V		○		
	負荷容量			○		
均等充電			○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

充電装置	外形		○		
	表示		○		
	開閉器・遮断器		○		
	交流入力電圧	206.1 V	○		
	トリクル・浮動・ 定電流定電圧充電電圧	トリクル 浮動 定電流定電圧 112.2 V	○		
	均等充電電圧	124.2 V	○		
逆変換装置	出力電流		○		
	負荷電圧		○		
	負荷電流		○		
	自動充電切替		○		
	接地		○		
直交変換装置	外形		/		
	表示		/		
	開閉器・遮断器		/		
	交流出力電圧		/		
	交流出力電流		/		
	周波数		/		
	接地		/		
直交変換装置	外形		/		
	表示		/		
	開閉器・遮断器		/		
	交流入力電圧		/		
	充電電圧		/		
	充電電流		/		
	交流出力電圧	V	/		
	交流出力電流	A	/		
	接地		/		
結線接続		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

ポンプ	外	形		／				
	性	能		／				
タンク・配管等				／				
制御装置				／				
耐震措置				○				
予備品等				／				
総 合 点 検								
接地抵抗		種	Ω					
絶縁抵抗			MΩ					
容量								
切替装置								
電圧計・周波数計								
警報動作								
減液警報装置								
液漏れ警報装置								
電圧調整範囲								
負荷電圧補償装置								
タイマー								
備 考	電気主任技術者 氏名及び資格							
	※ 蓄電池 2025年2月製 (取替時期目安 2032年5月)							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名
	絶縁抵抗計	DM-5257		三和電気				
	マルチテスター	CD-770		三和電気				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

防火扉・シャッター設備点検票

名 称	丹波の森公苑 (ホール棟、管理棟、研修棟)				防 火 管理者	西原 富美子	
所 在	兵庫県丹波市柏原町柏原5600				立会者	岡田 智恵	
点検種別	総合		点検年月日	令和 7 年 3 月 12 日 ~ 令和 7 年 3 月 12 日			
点 検 者	氏名		点 検 者	社名		TEL	
			所属会社	住所			
設備内容	連動制御盤		感 知 器		防火戸自閉装置		可動式 防 煙 垂 壁
	自火報複合盤 20回線/45		煙 式 イオン式 光 電 式		熱 式	シャッター 扉	防 火 ダンパー
設 備 数	1		20		2	12	22
点 検 数	1		20		2	12	22
点 検 項 目			点 検 結 果				措 置 内 容
			種別・容量等の内容	判定	不 良 内 容		
1. 電 源	(1) 交 流	開閉器の専用表示		○			
		結・線 接 続		○			
		自 動 遮 断 器		○			
	(2) 充 電 装 置	変 圧 器		○			
		整 流 体		○			
		計 器 の 表 示		○			
		ヒ ュ ー ズ 類		○			
		結 線 接 続		○			
	(3) 蓄 電 池 設 備	専 用 開 閉 器		○			
		密 閉 型 蓄 電 池	DC24 V 6.0AH/5HR	○			
		自 動 切 替 装 置	自動切替	○			
		結 線 状 況	端子接続	○			
2. 機 器	(1) 連 動 制 御 盤	位置・周囲の状況	自火報盤兼用	○			
		電 源 電 圧		○			
		スイッチ・ヒューズ類	2, 3, 8 A	○			
		地 区 作 動 試 験		/			
		予 備 電 源 試 験		○			
		遠 隔 制 御 試 験		/			
		ラ ン プ 類		○			
		結 線 接 続		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
6 種別・内容欄に機器のメーカー名・形名を記入すること。

2.	感知器	未設置箇所		○			
		取付位置		○			
		適応性		○			
		取付状態		○			
		変形・損傷		○			
		機能障害		○			
		作動試験	煙式感知器		/		
			熱式感知器		/		
	(3)防火戸自閉装置	取付状態		○			
		外観		○			
		作動試験		/			
		防火戸		○			
		障害		○			
	(4)シャッター	取付状態		○			
		外観		○			
		作動試験		/			
		シャッター		○			
		障害		○			
	(5)可動式防煙垂壁	取付状態		/			
		外観		/			
		作動試験		/			
		垂れ壁		/			
		障害		/			
	(6)防火ダンパー	取付状態		○			
駆動部			○				
作動試験			/				
備考	○予備電源						

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 6 種別・内容欄に機器のメーカー名・形名を記入すること。

備考 1 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良事項及び措置内容は措置内容欄に記入すること。記入できない場合は「備考」欄に詳細を記入すること。

2 連動制御器の表示回路ごとに数量を記入すること。

3 ※印のあるもので不良のものは、製造番号を記入すること。

警 戒 区 域		設 置 数										総合点検		点 検 結 果	措置内容	
番 号 No.	名 称	連 動 中 継 器	手 動 開 閉 装 置	自動起動装置		自動解錠装置					音 響 装 置	※ 煙感知器				
				熱 感 知 器	煙感知器	防 火 扉	シ ャ タ ー	ダ ン パ ー	垂 れ 壁	非 常 錠		そ の 他	製造番号			感 度
					イ オ ン 化 式											光 電 式
	ホール棟															
11	地下1階 客席系統 SFD							2						/		
12	地下1階 奈落系統 SFD							2						/		
13	地下1階 舞台系統 SFD							1						/		
14	1階 機械室中央 SFD							2						/		
15	1階 機械室網元側 SFD							3						/		
16	2階 機械室網元側 SFD							2						/		
17	2階 機械室吹抜側 SFD							1						/		
18	2階 DS側 客席側 SFD							2						/		
19	2階投光室1 SFD							3						/		
20	3階 下手側 SFD							4						/		
合 計								22								
総 合 計						20	12	2	22							
備 考	No.11～No.20は自火報連動です。															

- 備考 1 点検結果の欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良事項及び措置内容は措置内容欄に記入すること。記入できない場合は「備考」欄に詳細を記入すること。
- 2 連動制御器の表示回路ごとに数量を記入すること。
- 3 ※印のあるもので不良のものは、製造番号を記入すること。